

# 50万都市「江東」 さらなる発展へ向けて

平成28年第一回区議会定例会が、2月24日から開会されています。会期日程は3月30日(水)までの36日間で、「平成28年度一般会計予算」などの議案について審議されています。開会にあたり、山崎区長は今年1年の所信を表明し、区民の皆さんと区議会に理解と協力を求めました。

## 区長所信表明(要旨)

### 平成28年度 予算編成の大綱

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復していくことが期待されていますが、海外景気の下振れなどのリスクにより、先行きを楽観視できる状況ではありません。

こうした経済情勢を踏まえ、国の平成28年度予算は「経済再生と財政健全化の両立する予算」として編成され、一般会計の予算規模は前年度比0.4%の増の96兆7,218億円で過去最大となっています。

また、都の平成28年度予算は「『世界一の都市』の実現に向けた取組を加速化・深化させ、力強く前進させる予算」として編成されており、一般会計の予算規模は前年度比0.8%の増の7兆110億円となっています。なお、特別区の財政運営に影響を与える都税収入は、前年度比3.7%の増の5兆2,083億円が5年連続の増となっています。

### スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算

本区を取り巻く財政環境ですが、納税義務者数の増加や雇用・所得環境の改善等により特別区税は、前年度比5.1%の伸びを見込んでいます。また、特別区交付金は、法人住民税の一部国税化の影響が拡大するものの、人口増加に伴う需要の伸びや、普通交付金における子ども・子育て支援新制度等の影響により、前年度比3.6%増としています。

このように、本区歳入の根幹である特別区税、特別区交付金が堅

調に推移している今般を格好のチャンスと捉え、新たな課題への対応、真に必要な区民サービス向上のため、未来へ羽ばたく果敢な予算編成に取り組みました。

区の平成28年度予算は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツと人情が熱いまちをPRするほか、パラリンピック選手応援施策の充実など、区民を応援し、夢へと加速させる「スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算」として編成しました。

一般会計は前年度比6.7%の増の1,886億3,800万円で、過去最大の当初予算規模となっています。

予算の特徴としては「SPORTS & SUPPORTSブランディング推進事業」を開始し、ブランドコンセプトやロゴマークを活用して、本区の魅力を広く発信するほか、国のJETプログラムを活用した国際交流員の任用、障害者スポーツの普及振興などに取り組みます。

ハード事業として、私立保育所の整備を進め、千人を超す定員確保に努めるほか、学校の整備、既存校の改築・改修、15か所目の特別養護老人ホームを整備します。

ソフト事業としては「江東きつぷクラブ」の新規開設、蛍光灯および乾電池の回収方法を拠点から集積所へ移行し、水銀含有廃棄物の適正処理を徹底します。

その他の予算についても、コミュニティサイクルの区内全域への展開や、災害に強い燃え広がりないまちづくり、妊娠期から産後まで切れ目のない支援の開始、不妊治療への助成および通訳クラウドサービスの導入など、区民生活に

## 山崎区長が所信を表明



密接に関わる施策を充実します。予算編成にあたっては、自発的な事業の新陳代謝の徹底、民間委

託の拡大など、行財政改革にも積極的かつ着実に取り組みました。

## 本区の重要課題とその取り組み

### 築地市場の豊洲移転整備

昨年、都は新市場の正式名称を「東京都中央卸売市場 豊洲市場」と決定して、本年11月7日に開場することを発表しました。

本区は、今後も地下水管理シス

テムの運用状況などを注視し、継続して安全性の確保を求めています。また、市場に併設される千客万来施設は、豊洲市場との同時開設は困難な状況ですが、現在の築地のにぎわいを継承・発展させ、新たな観光名所となるよう早期の整備を求めています。



▲開場に向け工事が進む豊洲市場

3面へつづく

3面からつづき

オリンピック・パラリンピックに向けた環境を整備

「江東区スポーツ推進計画」に基づき、スポーツに親しめる環境の充実、ならびにオリンピック・パラリンピックの中心地として、誇りあるスポーツ環境の整備を着実に進めます。

特に障害者スポーツの普及振興を重点に取り組むため、2020年のパラリンピック大会出場を目指すパラカヌー選手輩出事業を引き続き実施するとともに、区内在住の障害者スポーツ選手に対し、一部国際大会への遠征費を補助します。

また、「(仮称)障害者スポーツフェスティバル」や障害者スポーツの指導員養成講習会を開催するなど、障害者および障害者スポーツの理解を促進し、4年後のパラリンピックに向け気運醸成を図っていきます。

観光振興については、平成28年度から5か年を期間とする「江東区観光推進プラン(後期)」に基づき、江東区観光協会と連携して、「住み続けたいまち江東」「何度訪れても楽しめるまち江東」を実現していきます。



▲パラカヌー選手を育成

男女共同参画社会の実現

本年3月に策定する、女性活躍推進法の施行など新たな課題を取り込んだ「男女共同参画KOTOプラン」改定版に基づき、社会状況の変化に即した施策を総合的かつ計画的に推進します。

ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち

がん対策の充実

本区において、がんは死因の第1位であり、がん対策は重要な課題です。「がん対策推進計画」に基づき、引き続き、積極的な施策の展開を図

り、生活習慣病の予防およびがんの早期発見など、がん対策の充実に取り組めます。

また、食の安全確保については、11月に開場する豊洲市場および周辺の暫定活用が予定されている施設への監視指導を重点的に行うなど、食品に関する事件・事故の発生防止に努めます。

妊娠・出産への支援

妊娠出産支援事業としては、育児の孤立化を防止し、出産や育児についての不安を軽減するため、全妊婦への面接やショートスティなどの産後ケアを提供するなど、妊娠期から産後における切れ目のない支援を行います。また、東京都が実施する不妊治療費の助成事業に、区独自の助成を上乗せし、不妊に悩む夫婦への支援も進めていきます。

高齢者施策・障害者施策・福祉施策の充実・強化

高齢者施策については、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、可能な限り住みなれた地域で、能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・介護予防・生活支援および住まいが包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。また、介護予防・日常生活支援総合事業により、効果的な介護予防と多様な生活支援サービスの実施により、地域社会全体で高齢者を支える柔軟な体制を整えます。

障害者施策については、本年4月の障害者差別解消法の施行を踏まえ、障害者差別に関する相談窓口の設置、区民、事業者等への周知・啓発に取り組めます。

福祉施策については、生活保護制



▲4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタート

度の適切・適正な運用と、生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談窓口を活用するとともに、貧困の連鎖を防止するため、生活保護受給世帯の生徒等を対象とする学習支援事業を充実します。

住みよさを実感できる世界に誇れるまち

優しい思いやりのあるまちづくりの推進

本年2月1日から江東区、千代田区、中央区、港区の4区によるコミュニティサイクルの相互乗り入れ実験を開始しました。今後は、平成30年度までに区内全域に拡大していきます。

「オリンピック・パラリンピックまちづくり基本計画」を踏まえ、ハードの整備だけではなく、優しく思いやりのある心を育てる、心のユニバーサルデザインを推進し、世界に開かれた江東区を目指します。

また、視覚障害者のホーム転落事故を防止するため、鉄道事業者が行う内方線付き点状ブロック整備の費用を一部助成するなど、鉄道駅のバリアフリーを推進し、人にやさしいまちづくりをしていきます。



▲コミュニティサイクル実証実験

住まいの安全・安心を確保

区営住宅においては、老朽化による事故等を防ぐとともに、予防保全的な維持管理を行い、耐久性の向上を図っていきます。また、既存住宅の適正な維持管理支援については、区民ニーズやマンション実態調査の分析結果を踏まえ、良好な住環境整備のため、一層の支援を行っていきます。

民間建築物の耐震化促進については、耐震診断完了物件に対し、耐震改修の働きかけを強め、まちの安全性向上に努めます。

また、区道の無電柱化については、来年度、オリンピック・パラリンピ

ック会場周辺路線となる、東雲および辰巳地区において、工事に着手します。

道路、橋梁の改修等については、東日本大震災により被災した新木場地区の道路が、来年度で道路の復旧工事を完了する予定です。

また、橋梁の改修は、「江東区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、来年度は、引き続き三島橋の架替、中川大橋の改修を進めるとともに、雲雀橋の改修に着手します。

自転車対策については、「江東区自転車利用環境推進方針」に基づき、自転車安全教室の対象拡大や自転車通行環境整備など、安全で快適な自転車利用環境の構築を進めていきます。

長期計画の実現に向けて

地域の課題を協働で解決

協働の取り組みを一層推進するため、協働のプロセスの理解と市民活動団体との連携促進を図るとともに、コミュニティ活動支援サイトの活用による市民活動団体の情報発信の支援をしていきます。

ホームページリニューアル

行政情報を伝える媒体の充実・強化を図りつつ、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、区の魅力を積極的に国内外に発信するため、本区のホームページをリニューアルします。

また、区議会の省資源化を図る取り組みとしたペーパーレス会議導入のため、タブレット端末の予算計上をしました。

長期計画の着実な推進

江東区行政改革計画を着実に推進し、外部評価を活用した事業見直しや新たな施策の創出などを通し、長期計画の着実な推進を図っていきます。

50万区民の信頼と負託に応えて

本区の大きな転換期となる2020年東京オリンピック・パラリンピックまで、いよいよ、あと4年となりました。今後も50万区民の信頼と負託に、意欲・スピード・思いやりを持って応え、基本構想が目指す未来の江東区づくりにまい進します。

東日本大震災から5年  
いつ起こるかかわからない大地震に備え  
家具類の転倒防止対策を

大地震が発生すると、家具の転倒やガラス片の飛散が、けがの大きな要因となります。これらの被害は、転倒防止器具や飛散防止フィルムの取り付けなどの事前の対策により防ぐことが

できます。この機会に、ご家庭や事業所の防災対策に取り組んでください。  
☎ 防災課災害対策係  
☎ (3647)9587

安心して通れる道路を目指して  
道路占用ルール

区道、都道などの「公道」は、誰もが安心して利用できるように整備されています。しかし、道路上に置かれた物件が交通上支障となったり、事故の原因となったりする事があります。

申請の方法は、区ホームページをご覧ください。道路占用係までお問い合わせください。  
☎ 道路課道路占用係  
☎ (3647)9689

「道路占用許可」の対象となる施設は道路法で限定されており、のぼり旗、立看板、自動販売機などは交通安全上の支障となるため、道路上に設置することはできません。

また、道路上に店の看板や商品を並べること、植木鉢、プランターなどの私物を置くことは、歩行者等の通行の妨げになりますので、自主的に撤去してください。皆さんのご理解とご協力をお願いします。  
☎ 施設保全課監察係  
☎ (3642)5094

道路は大切な共有財産です。みんなでルールを守りましょう。

また、道路上の電柱や街路灯等への違法なはり紙などは、街の景観上好ましくありません。区では違法な広告物の除却活動を実施しています。

道路占用許可申請を忘れずに  
看板や日よけ等は、路面からの高さや大きさなど一定の基準を満たしていれば道路占用許可を受けることができます。また、表示面積5㎡以下の家用看板は、道路占用料が所定の手続きにより減免される場合があります。道路占用物件の設置基準や

みんなの道路、きれいに広く、安全に  
道路上の電柱や街路灯等への違法なはり紙などは、街の景観上好ましくありません。区では違法な広告物の除却活動を実施しています。

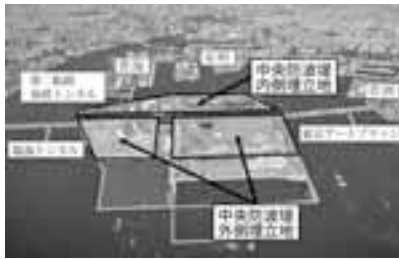
## 区長所信表明(要旨)1面からつづき

### 中央防波堤埋立地の帰属

中央防波堤埋立地は、長年にわたり、ごみの終末処理をすべて負わされてきた江東区民の犠牲の上に造成された土地であり、本区に帰属することは明白です。

2020年にはオリンピック3競技とパラリンピック2競技が、中央防波堤埋立地内で開催される予定となっています。円滑な競技会場の整備、運営等とはもとより、大会終了後の土地利用を見据えると、早急に本帰属問題を解決しなければならないと考えています。

今後も、区民・区議会のご理解とご協力のもと、本区の主張を関係機関に対し働きかけていきます。



▲競技会場も整備される中央防波堤埋立地

### 7つの重点プロジェクト

#### ①オリンピック・パラリンピック開催への準備

本年度も気運醸成に向けた取り組みを行ってまいりましたが、今後も東京オリンピック・パラリンピック基金を活用して、スポーツ振興、インフラ整備の推進などさまざまな分野で事業を実施します。

昨年、「SPORTS & SUPPORTS KOTO CITY IN TOKYO スポーツと人情が熱いまち 江東区」を区のブランドコンセプトと決定しました。今後は、ブランドコンセプトと新たなロゴマークを活用し、グッズの製作、イベントの開催、PR動画の制作などにより、区内の気運醸成と海外を含む区外の方々への積極的な魅力発信を実現します。

また、JETプログラムを活用し、国際交流員を配置します。本区の国際化に向けた幅広い分野で力を発揮してもらえることを期待しています。



▲区内では多くの競技が開催

#### ②南部地域における公共施設の整備

昨年、豊洲西小学校、豊洲駅地下自転車駐車場、豊洲シビックセンターをオープンしましたが、平成30年4月の開校に向け「(仮称)第二有明小・中学校」の整備を進めています。

今後も人口増が見込まれ、さらなる公共施設の整備が必要と考えますが、現時点でオリンピック・パラリンピック開催後の開発や人口の動向について、詳細を見通すことは難しい状況です。今後、人口動向を注視しながら、必要な公共施設の選定や、整備時期、民間活力の活用も含めた効率的・効果的な整備手法等について検討を進めます。

#### ③緑化・温暖化対策の推進

緑化対策については、「江東区CIGビジョン」をもとに、公共施設の緑化を推進するとともに、区民や事業者の皆さんとの協働を進め、みんなが緑の豊かさを実感しながら、毎日の生活を楽しむことができる緑の中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現を目指します。

温暖化対策については、COP21などの国際的な動きや国内の動向を見極めながら「江東区環境基本計画」に基づいて、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減を進めるとともに、新築校舎の木質化、木構造など、木材利用にも取り組んでいきます。

#### ④子育て・教育環境の整備

平成19年以降、95施設約5,600名の定員増を実現しました。引き続き認可保育所の整備を積極的に進め、1日も早い待機児童の解消を目指します。

教育環境の整備については、南部地域の急激な人口増に対応するため、「(仮称)第二有明小・中学校」の新築工事に着手するほか、既存校の改築、改修を進めます。

放課後支援事業では、「江東きつぷクラブ」を平成29年度までに全小学校での実施を達成できるよう取り組みを進めるほか、平成28年度より江東区立以外の小学校に在籍する区内在住の児童についても受け入れを行います。

今後も、安心して学校生活を送ることができる教育環境の実現と、放課後等の安全で健やかな居場所・生活の場の提供に努めます。

#### ⑤高齢者・障害者関連施設の整備

介護基盤の整備については、本年10月、塩浜1丁目に介護専用型ケアハウスや都市型軽費老人ホームのほか、地域交流サロンも併設した、区内15か所目の特別養護老人ホーム「(仮称)故郷の家・東京」を開設します。今後も、在宅での生活が困難な高齢者等が適切な施設に入所できるよう、整備促進に取り組んでいきます。

#### ⑥南北交通の利便性の向上

地下鉄8号線豊洲-住吉間の延伸については、昨年7月、東京都の「広域交通ネットワーク計画」において「整備について優先的に検討すべき路線」と位置づけられました。検討対象37路線のうち、優先的に検討すべき路線は5路線であり、本路線の必要性、高い整備効果が示されました。本年3月末には、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」を示した国の答申が公表される見込みです。

平成28年度は地下鉄8号線の整備に向けた正念場であり、引き続き全力を挙げて取り組んでいきます。

#### ⑦災害に強いまちづくりの推進

「防災都市江東」の推進を図るため、防災施設を整備するとともに、台風の大規模化などの豪雨により引き起こされる大規模な水害に対しては、広域避難および具体的な方針と対策について検討していきます。

また、木造住宅密集地域の対策は、不燃化特区事業における現地相談ステーションを核とした建替等の相談や老朽建築物の除去等の各種助成に加え、地区計画を見据えた施策の充実に取り組めます。その他の木造住宅密集地域についても、順次調査し事業化を図っていきます。

## 平成28年度の主な取り組み

### 水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

#### 水辺と緑の魅力ある空間を創出

区立公園・児童遊園については、八名川公園など4園で全面改修を行うとともに、小規模改修を南砂3丁目公園など8園で実施します。

仙台堀川公園整備事業については、隣接道路の改修と合わせ、安全で開放感のある緑豊かな公園を目指します。地域の特色を生かした魅力ある公園の整備に向け、実施設計を行います。

「水辺・潮風の散歩道」整備事業については、辰巳運河の辰巳1丁目に「潮風の散歩道」を整備し、水辺と緑のネットワークづくりを図ります。

豊洲ふ頭内公園等では、平成29年度の事業開始に向け、管理運営事業者の公募を行います。民間事業者と連携した管理運営を行うことで、経費の削減を図るとともに魅力ある水辺空間の創出を目指します。



▲潮風の散歩道が整備される辰巳運河

#### 温暖化対策・環境美化の推進

区立全小学校が実施している「カーボンマイナスこどもアクション事業」の活動が区内外から高く評価されており、低炭素杯2016のファイナリスト賞を受賞しました。引き続き本事業の充実にも努めるとともに、「環境学習情報館えこっくる江東」を拠点とし、地域における地球温暖化対策を推進します。

また、豊洲駅に「みんなでまちをきれいにするポスターコンクール」の小学生部門区長賞作品を印刷した啓発シールを掲出し、環境美化の推進をより一層図ります。

清掃リサイクル事業については、拠点回収している蛍光管と乾電池をごみ集積所における分別回収に変更し、回収量の増加を図り、水銀含有廃棄物の適正処理とリサイクルの推進をします。

また、「江東区リサイクルパーク」を廃止し、4月からびん・缶・ペットボトルの中間処理業務の民間委託を開始します。

### 未来を担うこどもを育むまち

#### 社会全体で子育て家庭を支える取り組み

保育所の整備については、亀戸地区に区内3番目となるサテライト方式による保育所を開設するなど、安心して出産、育児ができるまちとして施設整備を進めます。

また、子育て家庭への支援の充実については、6月から豊洲子ども家庭支援センターにおいて「リフレッシュひととき保育」を開始します。11月には区民協働のイベント「(仮称)こうとう子育てメッセ」を開催し、子育て支援情報を提供するとともに、区と地域の子育て支援団体とが連携

し、社会全体で子育て家庭を支援するよう取り組んでいきます。

児童虐待防止対策については、「KOTOハッピー子育てトレーニング事業」として、保護者の子育て力向上プログラムを導入し、虐待予防の取組みを強化していきます。

また、子育て支援課の窓口タブレット端末を配備し、5か国語に対応できるクラウド型ビデオ通訳サービスを導入します。

#### 学校施設を着実に整備

「(仮称)第二有明小・中学校」の整備のほか、校舎等の改築については、第五大島小学校の工事を行います。香取小学校では、本区4校目となるワークショップを開催し、さまざまな意見や考えを取り入れ、基本設計に着手します。改修については、3校で実施設計、4校1園で工事に着手します。



▲(仮称)第二有明小・中学校完成イメージ

#### 教員、スクールソーシャルワーカーの巡回指導

特別支援教育については、教員が巡回指導を行う特別支援教室を段階的に整備し、児童が在籍校で指導を受けられるよう充実を図っていきます。平成28年度は豊洲西小学校通級区域を対象として順次巡回指導への移行を図り、平成30年度には全小学校において巡回指導を実施します。

また、不登校等さまざまな問題に対応しているスクールソーシャルワーカーは、平成28年度に1名を増員し3名体制とし、学校を定期巡回し、積極的に問題解決に取り組めます。

### 区民の力で築く元気に輝くまち

#### 中小企業および雇用支援の充実

中小企業支援としては、継承と革新をテーマとした「江東ブランド推進事業」は、今年度認定した8社を加えた29社が連携して活動を行うとともに、展示会出展の拡充、江東ブランドの国内外へ向けた展開支援について検討します。

雇用支援については、「中小企業若者就労マッチング事業」に加え、昨年10月に開設した「こうとう若者・女性しごとセンター」において、特に女性や新卒学生等の若者と中小企業のマッチングを推進します。

また、商業振興については、商店街等のニーズにかなう多様な補助事業の実施、および区内商店を支援する「江東お店の魅力発掘発信事業ことみせ」の充実を図っていきます。



▲3年目を迎える江東ブランド